

G空間関連 令和6年度当初予算の概要

【単位:百万円】

金額は関連予算含む。十万円単位(小数点第一位)を四捨五入。
施策単位で額を確認できるものについてのみ集計。内数は集計外。
太字・下線はシンボルプロジェクト等を示している。

省庁名	令和5年度 当初予算額	令和6年度 当初予算額	主 な 施 策
内閣官房・内閣府 (警察庁・デジタル庁含む)	17,236	17,294	実用準天頂衛星システムの開発・整備・運用の推進、 小型衛星コンステレーションの構築加速のための基盤技術の 開発やアンカーテナンシーを通じた利用拡大、 総合防災情報システムの整備と運用、 アドレスBR及び不動産登記BRの運用保守 ほか
総務省	102	170	緊急消防援助隊動態情報システムの運用、 ヘリコプター動態管理システムの整備・運用 ほか
法務省	5,173	5,187	筆界特定の推進、登記所備付地図作成作業、 衛星測位を利活用したGPS測量推進事業
財務省	13	3	国有財産情報公開システムの運用
文部科学省	16,752	16,682	地球観測衛星の継続的開発、利用実証等、 国際的な宇宙開発利用の進展と人材育成のためのプログラム ほか
農林水産省	2,312	4,107	農林水産省地理情報共通管理システム運用保守、 森林GIS等の整備、 次世代スマート農業技術の開発・改良・実用化 ほか
経済産業省	2,751	1,980	衛星データ利用環境整備・ソリューション開発支援、 産業DXのためのデジタルインフラ整備事業、 衛星通信等の技術を活用した運航管理技術の開発 ほか
国土交通省	23,690	22,762	i-Constructionの推進による3次元データの利活用の促進、 電子国土基本図の整備・更新・3次元化等、 3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化、 地籍調査の推進、 海域の地理空間情報の整備・提供 ほか
環境省	5,640	5,812	生物多様性情報システム等の整備・活用推進、 再生可能エネルギー情報提供システム「REPOS」、 GOSATシリーズによる地球観測事業等 ほか
防衛省	656	1,319	災害対処等に資する地理空間情報に係るデータの整備、 自衛隊の災害派遣活動における災害用ドローンの活用、 自衛隊による衛星測位の利用 ほか
総計	74,325	75,316	
対前年度比		1.01	



G空間関連 令和5年度補正予算の概要

【単位:百万円】

金額は関連予算含む。十百万円の位(小数点第一位)を四捨五入。
施策単位で額を確認できるものについてのみ集計。内数は集計外。
太字・下線はシンボルプロジェクト等を示している。

省庁名	令和5年度 補正予算額	主 な 施 策
内閣府 (デジタル庁含む)	7,812	<u>総合防災情報システムの整備と運用、</u> <u>準天頂衛星システムの開発加速等、</u> 小型衛星コンステレーションの構築加速のための基盤技術の開発 やアンカーテナンシーを通じた利用拡大、 <u>アドレスBR機能整備</u> ほか
文部科学省	4,229	<u>地球観測衛星の継続的开发、利用実証等、</u> 地球環境データ統合・解析プラットフォーム事業
農林水産省	4,675	<u>農林水産省地理情報共通管理システムの開発、</u> <u>スマート農業技術の開発・実証・実装プロジェクト</u> ほか
経済産業省	関連予算の内数 (※)	自動運転等の先行実装のためのデジタルライフライン整備事業、 地質情報の整備
国土交通省	18,567	<u>i-Constructionの推進による3次元データの利活用の促進、</u> <u>電子国土基本図の整備・更新・3次元化等、</u> <u>3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化の推進、</u> 地籍調査の推進 ほか
環境省	1,269	<u>GOSATシリーズによる地球観測事業等</u> ほか
総計	36,552 (※を含まない)	

G空間関連 令和6年度当初予算及び令和5年度補正予算の概要(主要施策)



令和6年度当初予算及び令和5年度補正予算を一体として活用し、地理空間情報活用推進基本計画の取組を着実に推進していく。令和6年度は、準天頂衛星システムの5号機打ち上げや11機体制に向けた検討着手、次期総合防災システムの運用開始、ベース・レジストリである電子国土基本図の3次元化等に取り組む。

自然災害・環境問題への対応

○統合型G空間防災・減災システムの構築の推進

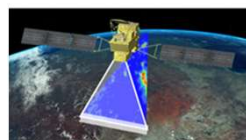
- ・総合防災情報システムの整備と運用
内閣府: 770百万円の内数(R6当初)
: 558百万円の内数(R5補正)



総合防災情報システム

○地球観測衛星による気候変動等の地球規模課題解決への貢献

- ・地球観測衛星の継続的開発、利用実証等
文部科学省: 11, 342百万円(対前年度1.06倍)(R6当初)
: 4, 000百万円(R5補正)
- ・温室効果ガス観測技術衛星の開発や運用
環境省: 4, 216百万円(対前年度0.92倍)(R6当初)
: 990百万円(R5補正)

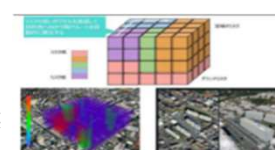


©JAXA
温室効果ガス・水循環観測技術衛星
(GOSAT-GW)

豊かな暮らしの実現

○「空間ID」を含む4次元時空間情報基盤の整備

- ・産業DXのためのデジタルインフラ整備事業
経済産業省: 2, 026百万円の内数(R6当初)
- ・自動運転等の先行実装のためのデジタルライフライン整備事業
経済産業省: 12, 687百万円の内数(R5補正)



空間IDをドローンの運行に活用

○SIPスマートモビリティプラットフォームの構築

- ・科学技術イノベーション創造推進費
内閣府: 55, 500百万円の内数(R6当初)

○3D都市モデル「PLATEAU」

- ・都市空間情報デジタル基盤構築調査、支援事業
国土交通省: 2, 200百万円(対前年度1.05倍)(R6当初)
: 1, 200百万円(R5補正)

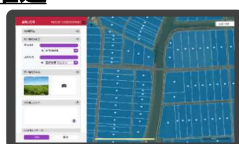


BIMモデル等を活用した
3D都市モデル

産業・経済の活性化

○スマート農業の加速化などデジタル技術の利活用の推進

- ・eMAFF地図の開発・運用
農林水産省: 2, 302百万円(対前年度5.33倍)(R6当初)
: 584百万円(R5補正)
- ・次世代スマート農業技術の開発・改良・実用化等
農林水産省: 650百万円(対前年度1.08倍)(R6当初)
: 3, 000百万円(R5補正)



eMAFF地図現地確認アプリ操作画面

○i-Constructionの推進による3次元データの利活用の促進

- ・i-Constructionの推進による3次元データの利活用の促進
国土交通省: 1, 796百万円(対前年度1.08倍)(R6当初)
: 8, 278百万円(R5補正)



IoTやデジタル技術を活用

○衛星データ利活用促進事業

- ・衛星データ利用環境整備・ソリューション開発支援
経済産業省: 380百万円(対前年度0.97倍)(R6当初)

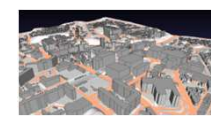
○地理空間情報活用人材の育成・交流支援

- ・地理空間情報等を活用したビジネスアイデアコンテスト「イチBizアワード」の開催
内閣官房: 21百万円の内数(R6当初)

地理空間情報基盤の継続的な整備・充実等

○高精度測位時代に不可欠な位置情報の共通基盤「国家座標」の推進

- ・電子国土基本図の整備・更新・3次元化等
国土交通省: 1, 672百万円(対前年度1.03倍)(R6当初)
: 3, 947百万円(R5補正)
- ・電子基準点の運用による位置情報サービスの発展への貢献等
国土交通省: 855百万円(対前年度0.95倍)(R6当初)
: 810百万円(R5補正)



ベース・レジストリである
電子国土基本図の3次元化

○準天頂衛星システムの開発・整備及び測位能力向上の推進

- ・実用準天頂衛星システムの開発・整備・運用の推進
内閣府: 16, 706百万円(対前年度1.00倍)(R6当初)
: 7, 307百万円(R5補正)

○不動産関係ベース・レジストリの整備・推進

- ・不動産関係ベース・レジストリの整備・推進
デジタル庁: 243百万円(対前年度1.45倍)(R6当初)
: 153百万円(R5補正)
- ・「不動産ID」を情報連携のキーとした建築・都市DX社会推進事業
国土交通省: 149百万円(R5補正)



準天頂衛星システム7機体制